

学士論文 2021 年度

## 観光活用された町並み保存地区の真正性の検証

—観光における3つの真正性議論を応用した、重要伝統的建造物群保存地区を  
観光活用している市町村の観光ウェブサイトの分析—

慶應義塾大学 総合政策学部 4 年

山口恵里佳 (71807954)

小熊英二研究会

## 要約

本論文の目的は、総覧的な調査によって町並み保存における真正性を検討することである。はじめに第1章では、本研究の位置付けを示した。第2章では、文化財制度および重伝建地区と観光の関係がどのように変化しているのか現状を把握するために、先行研究や文化庁の資料をもとに整理した。その結果、文化財保護法が保存から活用に転換していることから、文化財を積極的に観光活用することによる問題が顕在化していることがわかった。第3章では、観光における3つの真正性議論を応用して、観光活用された重伝建地区の真正性を分析した。分析結果から、重伝建地区が観光活用されると、観光客に求められる姿に変容している可能性が高いことが明らかとなった。一方で、文化財の積極的な観光活用化による弊害が問題となっているからこそ、「保護と活用の両立をしたい」という志向性を持つ観光協会ないし市町村が増えている傾向も捉えることができた。第4章では、第3章で検討した「観光活用された町並み保存地区」の観光ウェブサイトの真正性において、どのような要因が真正性の違いに影響を及ぼしているのかを検討するために、市町村の志向性の違いがウェブサイトに現れていると仮定して、仮説検証を試みた。結果として、支持されない仮説もあったが、真正性の違いに影響を及ぼしている可能性が高い要因をつかむことができた。本研究の課題は、ウェブサイト上でおこなった分析であるため、あくまでも傾向をつかむにとどまる点である。そのため本研究の次段階として、現地調査によって真正性を検討することが必要となる。

**キーワード：**文化財保護、真正性、町並み保存、観光、ウェブサイト

## 目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. はじめに                            | 4  |
| 1-1. 主題                            | 4  |
| 1-2. 背景                            | 4  |
| 1-3. 研究対象                          | 4  |
| 1-4. 研究方法                          | 5  |
| 1-5. 先行研究の検討                       | 6  |
| 1-5-1. 町並み保存研究の動向                  | 6  |
| 1-5-2. 保存された町並みの真正性に対する疑義          | 7  |
| 1-5-3. 観光における真正性の議論                | 7  |
| 2. 文化財活用から保護へ、そして保護と活用の両立へ         | 9  |
| 2-1. 文化財保護法と伝建制度                   | 9  |
| 2-1-1. 文化財保護法成立過程と文化財保護法改正までの流れ    | 9  |
| 2-1-2. 伝建制度                        | 10 |
| 2-2. 文化財保護と観光の関係性                  | 10 |
| 2-3. 小括                            | 11 |
| 3. 文化財の観光活用化は伝統の文脈を変化させるのか         | 12 |
| 3-1. 観光活用された町並み保存地区                | 12 |
| 3-2. 3つの真正性議論と重要伝統的建造物群保存地区への適応    | 14 |
| 3-3. 小括                            | 16 |
| 4. 何が観光ウェブサイトにおける真正性の違いに影響を与えているのか | 17 |
| 4-1. 観光協会と市町村の志向性の検討               | 17 |
| 4-2. 小括                            | 20 |
| 5. おわりに                            | 22 |
| 参考文献                               | 23 |
| 謝辞                                 | 26 |
| 付録                                 | 27 |

## 1. はじめに

### 1-1. 主題

本研究では、重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建地区）のなかで町並みを観光資源として活用している市町村の観光ウェブサイト、観光における3つの真正性<sup>1</sup>（オーセンティシティ）議論を応用して分析する。マクロ的視点で、町並み保存の真正性を検討することが本研究の目的である。

### 1-2. 背景

我々が、普段伝統だと思っているもののなかには、実は近代に入って生まれた比較的新しいものだということが往々にしてある。ホブズボウムは著書のなかで、長い年月を得たものだと思われている伝統のなかには、最近成立したものや人工的に創り出された「創られた伝統」があることを指摘している（Hobsbawm, 1983 前川他訳 1992）。

「創られた伝統」の例として、知覧<sup>2</sup>が挙げられる。福間（2020）は、知覧が「特攻の地」として知られるようになると、観光客やメディアの期待に合わせて、本来の文脈とは違う知覧のイメージを内面化し、新たなイメージを創り出していることを指摘した。

このように、観光客のイメージに合わせて創り出された新たなイメージが先行する現象が、文化財を観光活用化する際にも同様に問題化するのではないだろうか。

2019年の文化財保護法改正によって、近年文化財を積極的に活用して観光化を図る動きが活発化しているが、文化財の観光活用化においても、文化財が観光資源として活用されると、観光客の期待に沿った「文化財」として求められ、結果として新たに創られた「文化財」として存在するようになるのではないかと筆者は考えている。

そこで、本論文では、文化財の中でも、観光に密接に結びつく歴史的な町並み保存地区を対象に、観光資源として活用されると、本来の保存目的やまちでの価値、あるいは伝統的な文脈が変化し、演出された伝統として求められるようになるのではないかとというリサーチクエスションに基づいて研究を行う。

### 1-3. 研究対象

本研究の対象は、重伝建地区として認定されている町並み保存地区において、町並みを観光資源として活用している市町村の観光ウェブサイトである。

町並み保存地区のなかでも重伝建地区に限定する理由は二つである。一つは、町並み保存を行っている地域および伝統的建造物群保存地区（以下、伝建地区）の数の多さゆえにま

---

<sup>1</sup> 本物（らしさ）を意味する言葉。観光研究においては、観光客が見たり経験したりするものが観光業者や現地の人々によって観光用につくりあげられたものではなく、本来その観光地に存在する“本物”であることを指す用語として使われる。

<sup>2</sup> 鹿児島県南九州市知覧町郡のことを指す

まった資料がなく、すべての事例を対象とした調査が極めて困難だからである。もう一つは、重伝建地区というのが、伝建地区の中でも特に価値が高いものとして国が選定したものであるため、町並みが保存された地域の代表的な事例として扱うことができると筆者が判断したからである。

2021年9月8日から2021年12月1日の間に、重伝建地区に指定された地区を持つ市町村の各観光ウェブサイト进行调查した。

#### 1-4. 研究方法

観光における林（2020）の「真正性に関する議論の3段階」という説を応用し、「観光活用された町並み保存地区」にどのような真正性があるのかを検討する。3つの真正性を観測するために下記の1～6の指標をもとに、観光ウェブサイト进行调查する。

表1 観光サイト点数化項目

|       |   |                                 |
|-------|---|---------------------------------|
| 客観的   | 1 | 重伝建地区について書かれたページやコラム            |
|       | 2 | パンフレット/MAPに重伝建地区について書かれている      |
| 構築主義的 | 3 | 重伝建地区をめぐる/含むモデルコースを提示している       |
|       | 4 | 定期的な重伝建地区をめぐる町歩きイベント/ツアー/ガイドがある |
| 実存的   | 5 | メインビジュアルに重伝建地区の写真ないし文字          |
|       | 6 | PR動画に重伝建地区が紹介されている              |

本項目は、真正性の議論の3分類（客観的真正性、構築主義的真正性、実存的真正性）に則して筆者が作成したものである。項目を作成する際、自治体が重伝建地区を観光用資源としてどう位置づけているのかを明らかにする指標になるよう考慮して作成した。項目の1・2（コラム・パンフレット）は、本物（客観的な事実）を提示しているという点で、客観的真正性に分類できると判断した。3・4（モデルコース・ツアー）は、観光客の需要に合わせた体験を提示しているという点で、構築主義的真正性に分類できると判断した。5・6（メインビジュアル・PR動画）は、最も打ち出したいもの、見てもらいたい瞬間の提示という点で、実存的真正性に分類できると判断した。

これらの項目をもとに、123地区<sup>3</sup>の重伝建地区の観光ウェブサイトを開覧し、点数化を行う。各項目に当てはまった場合を1点、当てはまらなかった場合を0点とし、6項目の合計が全体の平均以上であった場合を、「観光活用された町並み保存地区」とする。

指標に基づいて、各観光ウェブサイトをチェックしていくわけだが、加点対象かどうか判

<sup>3</sup> 2021年7月時点。現在は3地区増えて126地区が重伝建地区に選定されているが、新たに選定された地区は資料がまだ作成されておらず、webサイト等への反映もされていないため研究対象から除外した。

断に迷わないために、歴史的な町並みを重伝建地区として扱われているかどうか、すなわち歴史的な町並みの紹介において「重要伝統的建造物群保存地区」と記されている場合を加点対象とする。ただし、パンフレットやPR動画、モデルコース、町歩きイベントのなかには「重要伝統的建造物群保存地区」という文字ではなく、「町並み保存」と記載されている場合や、町並みのビジュアルのみの場合は、その町並みが重伝建地区であると別のページで紹介されている場合に限り、加点対象とする。

## 1-5. 先行研究の検討

### 1-5-1. 町並み保存研究の動向

町並み保存研究の動向をまとめた研究として、大山（2009）がある。大山は、町並み保存を対象とした研究の動向を5つに大別している。

表2 町並み保存研究の動向

| 対象              | 特徴   |
|-----------------|--|
| 景観保全            | 建物の修理修景・デザイン・法制上の規則・ルールに対する現状・課題点等の町並みにおけるハード面を扱う。地域のまちづくりとも密接していることから景観計画、都市デザインといった内容の研究も多い。   |
| 住民意識            | 町並み保存の担い手である地域住民らの意識や考え方を通して地域を考察。   |
| 町並みの評価          | 住民とは別の立場である外部のまなざしからアプローチ。町並みを訪れた観光客による評価や、CVM（仮想市場評価法）調査を用いて、歴史的環境を定量的かつ客観的に評価など。   |
| 観光地形成及び変容・地域振興  | 歴史的町並み保存の動きと同時期に、国鉄が日本の美再発見キャンペーンをコンセプトとする「ディスカバージャパン」キャンペーンを始めたことにより、日本の伝統的な町並みを持つ地方都市への観光がブームとなった。このことから、地方の歴史的町並みが観光地として注目を集めることになり、町並み保存と観光の結びつきようになった。そのため観光学・観光地理学などからのアプローチも多い。   |
| 町並み・景観の”創出”や真正性 | 伝健制度下においては、町並みの”本物性・真正性”が強調される。観光研究においては、文化・観光人類学などから議論されることもある。   |
| その他             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域研究などを通して広く町並み保存の現状と課題点を探った論考</li> <li>・環境社会学の視点から保存運動を取り上げた考察</li> <li>・町並みに対する住民と行政の認識の変化から町並み保存における課題点を探ったもの</li> <li>・全国の重伝建地区を、現在置かれている立地環境において分類し、それぞれの立地類型における町並み保存の現状と課題点をまとめたものなど</li> </ul> |

出典) 大山（2009）より筆者作成

このように町並み保存をテーマとした研究は多岐にわたり、また研究蓄積も多い。しかしながら、大山（2009）が、町並み保存研究の多くがケーススタディであることを指摘しているように、マクロ的視点から行われている町並み保存を対象とした研究は少ない。さらに大山（2009）は今後の町並み保存研究においては、「町並み保存そのものに対する意義づけ・再検証などの議論が求められる」ことを指摘している。

以上のことから、マクロ的視点で町並み保存そのものに対する意義づけ・再検証を行う

ような研究が、町並み保存を対象とした研究動向において意義のあることだと考える。

よって、本研究では町並み保存における総覧的な調査と、町並み保存における真正性の検証を行い、町並み保存研究の一助になることを目指す。

### 1-5-2. 保存された町並みの真正性に対する疑義

町並み保存（景観を含む）の意義づけ・再検証を行なった論文として、ゴフマンの劇場理論を富山県井波町瑞泉寺門前町の景観に応用して分析した須山（2003）がある。須山は、門前町の景観を、ホスト（観光客）の眼差しによって創られた（あるいはホストの期待に沿うように創られた）ものであり、本来の工業町としての門前町のコンテクストを反映したものではないことを指摘した。門前町では観光と工業の二つの舞台が併存しており、工業と行政・地域社会が相互に利用し合う関係が、門前町の景観にも反映されていることを考察している。本研究はこうした疑義を踏まえ、町並みの真正性を検証することで、町並み保存の意義づけ・再検証を行う。大きな違いといえば、須山（2003）が工業地理学をもとに、一つの地区の景観分析を行っているのに対して、本研究では多数の地区を対象に真正性の議論を応用して分析する点である。すなわち、本研究と須山（2003）とは、対象の幅と依拠する方法論がまったく異なる。

### 1-5-3. 観光における真正性の議論

真正性という言葉は、たびたび観光社会学の研究で用いられる。遠藤（2002）によれば、観光を「オーセンシティブとかけ離れたもの、人工的なものとして見る立場」と「オーセンシティブが希求される空間として捉える立場」の二つの立場を軸に、観光のオーセンシティブをめぐる社会学理論が展開されたという。前者の代表的な研究者であるブーアスティンは「疑似イベント」の実例として観光を取り上げ、実際の観光地の姿や文化よりも、メディアが創り出したイメージに惹かれ、それを確認するために観光があることを論じている（Boorstin 1961, 後藤他訳 1964）。対して、後者の代表的な研究者であるマキャーネルはゴフマンの言葉を借りて、観光客を観光用に創られた「表舞台」ではなくその土地のありのままの姿・文化である「舞台裏」を探究するものとして捉えている。（MacCannell 1976, 安村他訳 2012）。

先述のブーアスティンやマキャーネルの議論は、客観的に真正性を判断する基準を想定するものであり、「本物」の伝統と「偽物」の伝統、「本当」の過去と「理想化された」過去という二分法に基づいた議論である（渡部, 2017）。一方で渡部（2017）は、これらの批判的立場として二元論を乗り越えようとする研究も展開されたが、二元論を乗り越えるならば真正性を論じる必要がなくなってしまうことを指摘している。すなわち、真正性を議論する研究においては、二元論を乗り越える議論を行うのではなく、どのような二元論的視座に基づくのかを明示する必要がある。

林（2020）は観光における真正性議論をわかりやすく整理している。

表3 真正性議論の3分類 (林, 2020)

| 分類      | 客観的真正性論<br>(Objective Authenticity)       | 構築主義的真正性論<br>(Constructive Authenticity)      | 実存的真正性論<br>(Existential Authenticity)       |
|---------|---|---|---|
| 拘りの対象   | 本物の観光資源                                   | 本物の観光体験                                       | 自分の本当の気持ち                                   |
| 注目点     | 疑似イベント、舞台の真正性、文化の商業化                      | 観光客の期待、ゲストとホストの関係、真正性の形成                      | ポスト真正性、真正性の再生産                              |
| 代表的な研究者 | Boorstin, MacCannell, Taylor, Greenwood 等 | Cohen, Moscardo, Pearce 等                     | Brown, Grunewald, Wang 等                    |
| 主な論点    | 真正性は観光資源の固有特徴であり、量的標準で評価できる               | 真正性は絶対的なものではなく、構築されたものである。ゲストとホストの間の関係の産物である。 | 観光資源の真正性は必ずしも必要ではない、観光主体に意味があれば、真正性があると認める。 |

林 (2020) によると、真正性の議論には「客観的真正性論」「構築主義的真正性論」「実存的真正性論」の3つの段階がある。ブーアスティンやマキャーネルのように観光の資源や体験の真偽に関する研究は第一段階の「客観的真正性」と呼ばれる。次に、第二段階として、真正性はホストとゲストの関係によって生まれるものという考えに基づくコーエンらに代表される議論は「構築主義的真正性論」と呼ばれる。第三段階では、観光対象や観光体験が本物かどうかではなく、観光の過程で得られる満足感に焦点を当てた研究がなされ、これは「実存的真正性論」と呼ばれる (林, 2020)。

本研究では、渡部 (2017) が指摘するように本物であるか否かという二元論ではなく、どのような「観光活用された町並み保存地区」においてどのような真正性がありうるのかを検討したい。そこで、観光における3つの真正性議論を応用して、観光ウェブサイトの分析を行う。



## 2. 文化財活用から保護へ、そして保護と活用の両立へ

真正性の分析を行う前に、まず文化財制度および重伝建地区と観光の関係がどのように変化しているのか現状を把握する必要がある。そこで、本章では、先行研究や文化庁の資料から重伝建地区を含む文化財制度と観光との関係性がどう変化していったのかを整理する。

### 2-1. 文化財保護法と伝建制度

#### 2-1-1. 文化財保護法成立過程と文化財保護法改正までの流れ

日本の文化財保護法の制度は、明治以降の近代国家の成立と発展のなかで次第に形成された。文化財が保護の対象となった背景には、文化財がさまざまな危機に直面してきたことがある。明治維新後の欧化主義や廃仏毀釈などの伝統文化軽視の風潮と、社寺の疲弊した状況が相まって、日本建造物をはじめとした多くの文化財が破壊の危機に直面していた。こうした状況下において、明治4年に政府が「古器旧物保存法」の太政官布告を発し、全国的に古器旧物保全を通達した。これが、日本での文化財保護思想の普及を図った初めての政策である。以降、文化財の保護のための法制（明治30年には古社寺保存法、大正8年には史跡名勝天然記念物保護法、昭和4年には国宝保存法、昭和8年には重要美術品等ノ保存ニ関スル法律）の制定が進んだ。

文化財保護法が制定されたのは、第二次世界大戦が終わってから少し経った昭和25年である。同法は、戦後の混乱期に文化財の散逸や海外流出の危機が続いていたなか起こった、法隆寺金堂壁画の焼失（昭和24年）を契機として昭和25年に成立した。これにより、従前に定められていた国宝保存法、史跡名勝天然記念物保護法、重要美術品等ノ保存ニ関スル法律等の従来の法律が統合され、大幅に制度の拡充が図られた。ここでの「文化財」としての保護対象は、歴史上または美術上価値の高い建造物・宝物、史跡名勝天然記念物、無形の文化的所産で歴史上または芸術上の価値の高いものである。文化財保護法は施行以来、史跡や建造物など個々の文化財保護には、かなりの成果を上げてきたようである。

一方で30年代に入ると、高度経済成長政策のもとで都市化・開発が進み、各地で遺跡の破壊、歴史的町並みの消滅、過疎化による民俗芸能の衰退を招いた。この状況を問題視した各地の集落町並みの住人が保存運動を起こし、各自治体が独自の町並み保存の条例を制定するようになった。なぜ文化財保護法があるにもかかわらず、各自治体が保存の条例を制定したかといえば、当時の文化財保護法では、建造物の単体しか保護できなかったからである。町並みは当然のことながら、建造物の集合であり、建造物だけでなく周囲の環境によって成り立つものである。このように建造物個々の対象からその周辺までの対象へと保護対象の拡大を進める必要があるという動きが大きくなった結果、昭和50年に文化財保護法が改正され、由緒ある集落や町並みが「伝統的建造物群保存地区」として、正式に保存の対象に加わった。

## 2-1-2. 伝建制度

伝建地区に指定されると、保存地区内の建築物等の外観等を変える行為を自由に行うことができなくなる。一方で、修理・修景、防災設備の設置、案内板の設置等に対する補助や、税制優遇措置を受けることができる。伝建地区のなかでも、国にとって価値が高いと判断されたものが重伝建地区として選定される。重伝建地区の選定基準<sup>4</sup>は以下の通りである。

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

- (一) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- (二) 伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- (三) 伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの

現在（令和4年1月10日時点）では、43道府県104市町村126地区が重伝建地区に選定されている。

## 2-2. 文化財保護と観光の関係性

文化財保護と観光が活発に結びつく前から、文化財保護と観光との関係性は存在したが、観光は文化財に弊害を与える認識だった（奥野, 2020）。第二次世界大戦後の経済成長以降、観光は大衆化し、1960年代以降にはマス・ツーリズムが隆盛したが、自然環境の破壊や文化遺産の劣化などのさまざまな弊害が起こった。その結果、1980年代に入ると、マス・ツーリズムに取って代わる、新しい観光のあり方が模索されてきた（石森, 2001）。新たな観光のあり方を模索する中で登場したものが、「持続可能な観光」である。宮本（2009）によれば、1992年の国連環境開発会議において、持続可能な開発を達成するために積極的に貢献できる分野の一つとして観光が位置付けられたことで、「持続可能な観光」が注目されるようになったという。こうして日本でも持続可能な観光が目指されたのだが、その中で文化財を地域資源や文化資源として保存・活用し、まちづくりや地域活性化に活かす動きが現れた（奥野, 2020）。

文化財保護と観光の関係が大きく変化したのは、2000年代に入ってからである。2003年に訪日旅行の飛躍的拡大のための国を挙げた戦略的な取り組みとして開始された「ビジット・ジャパン・キャンペーン」や2006年に観光立国実現の推進を目的とした「観光立国推進基本法」が制定されたことにより、初めて観光が日本の重要な政策の柱として明確に位置付けられた（国土交通白書, 2020）。2016年になると、観光立国を実現する取り組みとして、「明日の日本を支える観光ビジョン」が策定された。この新たなビジョンでは、観光を促進するために保護された文化財の活用を推し進めることが明記されている。このように、積極的に文化財を観光に活用しようとする動きが生まれたことによって、今日の文化財保護には、保

---

<sup>4</sup> 出所：文化庁（2019）「歴史を活かしたまちづくり」より抜粋

護だけでなく活用が求められるようになった。この点で、文化財保護と調和した観光が推進されるようになったといえる。しかしながら、文化財を積極的に観光活用することにより、その破損や損傷、また観光客が好むように本来の姿から変容する問題が顕在化している（奥野, 2020）。

### 2-3. 小括

以上の整理から、文化財が「活用」から文化財保護法による「保護」の対象へ、そして観光立国実現推進により、「保護」から「保護と活用」の対象へと変化していく様子が見られた。その変化の過程で、相対するものと考えられていた文化財保護と観光が、調和して推進されるようになったことは、大きな成果だといえる。しかしながら、奥野（2020）が指摘するように、文化財を積極的に観光活用することによる問題が顕在化していることを鑑みると、やはり文化財の観光活用に対する意義を考えることは重要である。

こうした文化財の活用と保護の関係は、それぞれ「客観的真正性論」「構築主義的真正性論」「実存的真正性論」の3つの真正性の議論と関連性があると考えることができよう。すなわち、「保護」と「客観的真正性」とは歴史的な価値を重視するという点で、「活用」と「実存的真正性」とは文化財を押し出して観光を図ることを重視するという点で、「保護と活用」と「構築主義的真正性」とは歴史的な価値だけでなく観光客向けのコンテンツを重視するという点で、共通している。

そこで、次章では、文化財の活用と保護の関係と3つの真正性の議論との関連性を念頭に置きながら、文化財の観光活用化による文化財の価値や意義の変化の有無を検討する。

### 3. 文化財の観光活用化は伝統の文脈を変化させるのか

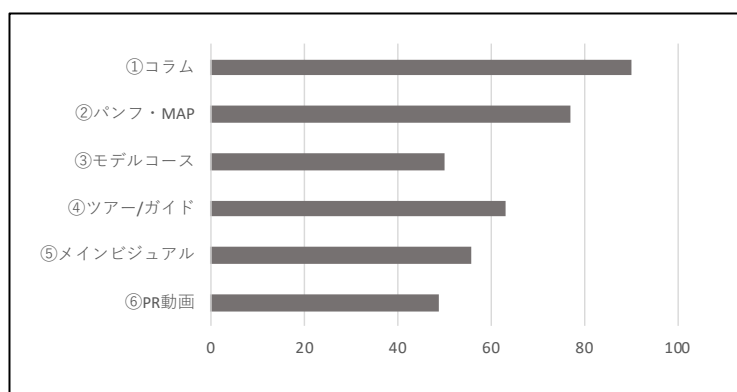
本章では、観光活用された重伝建地区を、真正性の議論3分類を応用した分析を行う。観光活用化によって、重伝建地区が、本来のまちでの価値、あるいは伝統的な文脈が変化し、観光客に求められるイメージへ変容するの否かを検討することが目的である。

#### 3-1. 観光活用された町並み保存地区

真正性を検討するにあたり、まず「観光活用された町並み保存地区」を明らかにした。観光サイト点数化項目(表1)に基づき、重伝建地区を保持する各市町村の観光ウェブサイトを点数化した結果、6点が付いたものが12地区、5点が付いたものが16地区、4点が付いたものが24地区、3点が付いたものが31地区、2点が付いたものが17地区、1点が付いたものが10地区、0点が付いたものが11地区、観光ウェブサイトなしと判断したものが2地区となった。

123地区の観光ウェブサイトにおける各項目の度数分布(表4)について触れると、最も多くの地区のウェブサイトに登場したのは、重伝建地区について書かれたページやコラムであった。次にパンフレット・MAPと続いた。客観的真正性に分類される項目(①、②)を含む観光ウェブサイトが多いことから、多くの観光ウェブサイトにおいて、本物(客観的な事実)を提示することを重視していることがわかる。

表4 各項目の度数分布



観光ウェブサイト点数の平均点は3.2点(小数点第2位繰り上げ)だったため、4点以上がついた観光ウェブサイトを持つ自治体を「観光活用された町並み保存地区」とした。「観光活用された町並み保存地区」と設定した52地区は下表のとおりである。

表5 観光活用された町並み保存地区

| 対象地区名(都道府県)   | 種類 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 合計 |
|---------------|----|---|---|---|---|---|---|----|
| 函館市元町末広町(北海道) | 港  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  |

|                |    |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 高山市三町（岐阜）      | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 高山市下二之町大新町（岐阜） | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 高岡市金屋町（富山）     | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 南砺市相倉（富山）      | 集落 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 南砺市菅沼（富山）      | 集落 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 南丹市美山町北（京都）    | 集落 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 内子町八日市護国（愛媛）   | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 津山市城東（岡山）      | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 竹原市竹原地区（広島）    | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 福山市鞆町（広島）      | 港  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 日向市美々津（宮崎）     | 港  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 横手市増田（秋田）      | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 塩尻市奈良井（長野）     | 宿場 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 名古屋市有松（愛知）     | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 豊田市足助（愛知）      | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 亀山市関宿（三重）      | 宿場 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 5 |
| 高岡市山町筋（富山）     | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 金沢市東山ひがし（石川）   | 茶屋 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| 丹波篠山市篠山（兵庫）    | 武家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 美馬市脇町南町（徳島）    | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 倉吉市打吹玉川（鳥取）    | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 津山市城西（岡山）      | 商家 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 高梁市吹屋（岡山）      | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| 萩市堀内地区（山口）     | 武家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 萩市平安古地区（山口）    | 武家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 萩市佐々並市（山口）     | 宿場 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 鹿島市浜中町八本木宿（佐賀） | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| 村田町村田（宮城）      | 商家 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 下郷町大内宿（福島）     | 宿場 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 桜川市真壁（茨城）      | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 桐生市桐生新町（群馬）    | 産業 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 東御市海野宿（長野）     | 宿場 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 美濃市美濃町（岐阜）     | 商家 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 恵那市岩村町本通り（岐阜）  | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 焼津市花沢（静岡）      | 集落 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 大津市坂本（滋賀）      | 社寺 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |

|                 |    |   |   |   |   |   |   |   |
|-----------------|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 近江八幡市八幡（滋賀）     | 商家 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 東近江市五個荘金堂（滋賀）   | 集落 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 橿原市今井町（奈良）      | 社寺 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 湯浅町湯浅（和歌山）      | 産業 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 三好市東祖谷山村落合（徳島）  | 集落 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 西予市宇和町卯之町（愛媛）   | 商家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 呉市豊町御手洗（広島）     | 港  | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 萩市浜崎（山口）        | 港  | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 有田町有田内山（佐賀）     | 産業 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 鹿島市浜庄津町浜金屋町（佐賀） | 港  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 日南市飢肥（宮崎）       | 武家 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 出水市出水麓（鹿児島）     | 武家 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 薩摩川内市入来麓（鹿児島）   | 武家 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 南さつま市加世田麓（鹿児島）  | 武家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 竹富町竹富島（沖縄）      | 集落 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |

### 3-2. 3つの真正性議論と重要伝統的建造物群保存地区への適応

前節で「観光活用された町並み保存地区」を明らかにしたが、これらの地区ははたして、本来の町並みの歴史的な文脈とは異なる、観光客に求められるイメージへと変容しているのだろうか。仮にイメージの変容がおきていたとしたら、そのイメージを演出するために観光ウェブサイトでは、歴史的な事実よりも、観光客向けのコンテンツに重きを置くはずである。すると、観光ウェブサイトにおいては客観的真正性、構築主義的真正性、実存的真正性議論の3つの真正性のなかでも、観光客の需要に合わせた体験を提示しているという点で、構築主義的真正性にあたる項目が高くなっていると考えられる。

以上のことから、検証すべき仮説は以下のようなになる。

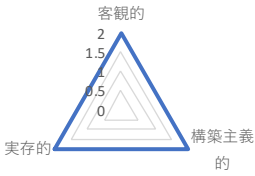
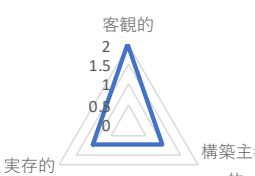

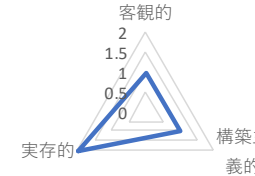



仮説 1：「観光活用された町並み保存地区」では、構築主義的真正性の項目が高い地区が多い傾向にある。

仮説 1 を検証するために、「観光活用された町並み保存地区」における真正性が、どのように構成されているのかを明らかにした。観光サイト点数化項目における 1~6 すべてが当てはまる場合 (2/2/2)<sup>5</sup> を総合型、客観が最も高い (2/1/1) 場合を客観型、構築が最も高い (1/2/1) 場合を構築型、実存が最も高い (1/1/2) 場合を実存型、客観だけが低い (1/2/2

<sup>5</sup> 左から客観的真正性／構築主義的真正性／実存的真正性の値順

or 0/2/2) 場合を構築-実存型、構築だけが低い (2/1/2 or 2/0/2) 場合を実存-客観型、実存だけが低い (2/2/1 or 2/2/0) 場合を客観-構築型と分類した。

表6 7つの型

|                        |   |   |
|------------------------|---|---|
| <p>総合型<br/>(12)</p>    |    | <p>函館市元町末広町、高山市三町、高山市下二之町大新町、高岡市金屋町、南砺市相倉、南砺市菅沼、南丹市美山町北、内子町八日市護国、津山市城東、竹原市竹原地区、福山市鞆町、日向市美々津</p> |
| <p>客観型<br/>(9)</p>     |    | <p>村田町村田、桜川市真壁、桐生市桐生新町、美濃市美濃町、焼津市花沢、大津市坂本、萩市浜崎、出水市出水麓、南さつま市加世田麓</p>                             |
| <p>構築型<br/>(5)</p>     |   | <p>東御市海野宿、東近江市五個荘金堂、呉市豊町御手洗、有田町有田内山、薩摩川内市入来麓</p>  |
| <p>実存型<br/>(1)</p>     |  | <p>近江八幡市八幡</p>  |
| <p>構築-実存型<br/>(1)</p>  |  | <p>津山市城西</p>  |
| <p>実存-客観型<br/>(9)</p>  |  | <p>横手市増田、塩尻市奈良井、豊田市足助、亀山市関宿、美馬市脇町南町、倉吉市打吹玉川、萩市佐々並市、下郷町大内宿、竹富町竹富島</p>                            |
| <p>客観-構築型<br/>(15)</p> |  | <p>名古屋市有松、高岡市山町筋、金沢市東山ひがし、丹波篠山市篠山、高梁市吹屋、萩市堀内地区、萩市平安古地区、鹿島市浜中町八本木宿、橿原市今井町、湯浅町湯浅、</p>             |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | 三好市東祖谷山村落合、西予市宇和町卯之町、鹿島市浜庄津町浜金屋町、日南市飫肥、恵那市岩村町本通り |
|--|--|--|

仮説 1 に基づけば、観光活用された町並み保存地区では構築主義的真正性の値が高い地区が多くなるはずである。7つの型（表 6）から、構築主義的真正性の項目が高い型は総合型、構築型、構築-実存型、客観-構築型の計 4 つとなった。実際にこの 4 つの型に分類された地区数を見ると、52 地区中 33 地区で構築主義的真正性の項目が高い結果となった。半数以上の地区で構築主義的真正性の項目が高い傾向にあることが明らかになったという点において、仮説 1 は支持されたといえる。

### 3-3. 小括

観光ウェブサイトの分析から、「観光活用された町並み保存地区」では、構築主義的真正性の項目が高い自治体が多い傾向にあることが示された。このことはすなわち、重伝建地区が観光活用化されると、本来の姿から観光客に求められる姿へと変容している可能性が高いことを意味する。すべての地区で構築主義的真正性の項目が高いわけではないため、あくまで傾向にとどまるが、それでも観光ウェブサイト分析からは、奥野（2020）が指摘する文化財の積極的に観光活用による問題は、歴史的な町並み保存地区においても存在するといえるだろう。

一方で、第 2 章に基づけば、総合型に分類されるウェブサイトの多さは、観光協会ないし市町村が文化財の「保護と活用の両立」を志向する傾向が主流となっている<sup>6</sup>ことの表れだと考えることができよう。

つまるところ本分析結果は、文化財が観光活用されると、観光客に求められる姿に変容している可能性が高いことを支持する一方で、今日の観光協会ないし市町村が、そのような積極的な活用による文化財の弊害を理解し、伝統的な文脈も重視する「保護と活用の両立」を推し進めるようになっている傾向を捉えているともいえる。

<sup>6</sup> 構築主義的真正性だけでなく、客観的真正性と実存的真正性の項目の高さも含む点において、総合型は「保護と活用の両立」だと考えられる。



#### 4. 何が観光ウェブサイトにおける真正性の違いに影響を与えているのか

これまで、「観光活用された町並み保存地区」における観光ウェブサイトの真正性を検討してきたが、一体どのような要因が真正性の違いに影響を及ぼしているのだろうか。本章では、市町村の志向性の違いがウェブサイトに現れていると仮定して、仮説検証を試みたい。

##### 4-1. 観光協会と市町村の志向性の検討

はじめに、3つの真正性を観光協会と市町村の志向性として推測すると、以下のように推測できる。

客観的真正性：観光協会と市町村は歴史的な町並みの価値を知ってもらいたい

構築主義的真正性：観光協会と市町村は観光客数を伸ばすことに力を入れたい

実存的真正性：観光協会と市町村は重伝建地区を町のシンボルとして重視したい

7つの型（表6）をこの推定を当てはめて検討すると、まず総合型はすべての項目が揃っていることから、観光協会と市町村の志向性は、観光地として押し出すことにとっても力を入れていると考えられる。そのため、アクセスしやすい地区もそうでない地区でも全体的に観光客が多く、重伝建地区周辺に宿泊施設や飲食店も充実しており、観光をする環境が整っていると予想できる。

次に、客観型は他に比べ客観的真正性の項目値が高いことから、観光協会と市町村の志向性は、特に歴史的な町並みの価値を知ってもらうことを重視しているといえる。なぜ町並みの価値を知ってもらうことを重要視するのか。考えられる要因として、観光地として楽しんでもらうわけではなく、あくまでも貴重な文化財を継承し、伝えていくことに重きを置いていることが挙げられる。すると、重伝建地区の周りには、観光客向けに栄えているわけではないという点において、宿泊施設や飲食店が少ない傾向にあるのではないかと予想できるだろう。

構築型は他に比べ構築主義的真正性の項目値が高いことから、観光協会と市町村の志向性は、特に観光客数を伸ばすことに力を入れているといえる。なぜ観光客数を伸ばすことに注力しているといえるかというと、観光客の需要に合わせた体験を提示しているという構築主義的真正性が他の真正性よりも高いからである。重伝建地区を活用して観光化を図ったが、思うように観光客数が伸びていない地区と想定すると、歴史的な町並みを伝えることよりも、観光客が欲するようなコンテンツを充実させることに重きをおくことが理解できる。したがって、志向性の要因として、比較的重伝建地区の制定日が古く、観光客が多くない地区と予想できる。

実存型は他に比べ実存的真正性の項目値が高いことから、観光協会と市町村の志向性は、特にシンボルとして重視しているといえる。市町村のシンボルとなるわけであるか

ら、それなりに歴史があるものだと考えることができる。すると、実存的真正性の項目値が高い要因は、重伝建地区として選定された歴史が長いことと、他に市町村を代表する観光スポットが少ないことが予想できる。

構築—実存型は、客観的真正性の項目値が低いことから、歴史的な町並みの価値を知ってもらうことをそこまで／まったく重視していないといえる。町並み保存に注力しているのにも関わらず、歴史的な町並みの価値を知ってもらうことを重視しないということは、矛盾する。なぜその矛盾が生まれるかといえば、重伝建地区の制定日が新しいからだと考えると納得できる。まだ観光ウェブサイトのコンテンツが整備されていないため、そのような矛盾が生まれたと考えるのが自然だろう。

実存—客観型は、構築主義的真正性の項目値が低いことから、重伝建地区に観光客に来てもらうことをあまり／まったく重視していないといえる。なぜ観光客を重視しないのか。考える要因として、すでに観光客が来ていること、集落のようなアクセスしにくい環境にあることが挙げられる。観光客がすでにたくさん来ているのであれば、積極的な宣伝をしなくても観光地として確立しているはずであるし、集落のようなアクセスしにくい環境であれば、住民との関係や交通の不便さから積極的な集客を行わないはずである。

客観—構築型は、実存的真正性の項目値が低いことから、重伝建地区をあまり／まったくシンボルとして重視していないといえる。重伝建地区をシンボルとして重視しないということは、他にも主要な観光地、あるいは押し出したいポイントがあり、そちらがシンボルとして観光ウェブサイトのメインビジュアルに使われていると予想できる。

以上のことから、検証すべき仮説は以下ようになる。

仮説1：総合型は、観光地としてとても力を入れている

仮説2：客観型は、特に歴史的な町並みの価値を知ってもらうことを重要視している

仮説3：構築型は、特に観光客数を伸ばすことに力を入れている

仮説4：実存型は、特にシンボルとして重視している

仮説5：構築—実存型は、歴史的な町並みの価値を知ってもらうことをあまり／まったく重視していない

仮説6：実存—客観型は、重伝建地区に観光客に来てもらうことをあまり／まったく重視していない

仮説7：客観—構築型は、重伝建地区をあまり／まったくシンボルとして重視していない

上記仮説は以下の方法で検証する。

仮説1：アクセスしやすく観光客も多い地区であるか否か、アクセスしにくい観光客が多い地区であるか否か、宿泊施設や飲食店が多いか否か

仮説2：宿泊施設や飲食店が少ない傾向にあるか否か

仮説3：制定日が古いかな否か、観光客があまり多くない傾向にあるかな否か

仮説4：制定日が古いかな否か、メインビジュアルに使用されているかな否か

仮説5：制定日が新しいかな否か

仮説6：すでに観光客が多く来ているかな否か、アクセスしづらい場所にあるかな否か

仮説7：観光サイトのメインビジュアルに、他の主要な観光地や押し出したいポイントが使われているかな否か

表7 仮説の検証結果

| 分類              | 対象地区名(都道府県)    | 制定日         | メインビジュアル   | 最寄駅からのアクセス(約) | 市町村の入込観光客数(人) | 徒歩15分圏内にある宿泊施設数 | 徒歩15分圏内にある飲食店数(約) |
|-----------------|----------------|-------------|------------|---------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 総合              | 函館市元町末広町(北海道)  | 1989年4月21日  | ○          | 10分以内         | 5,368,900     | 32              | 20                |
|                 | 高山市三町(岐阜)      | 1979年2月3日   | ○          | 15分以内         | 6,988,752     | 51              | 100               |
|                 | 高山市下二之町大新町(岐阜) | 2004年7月6日   | ○          | 15分以内         | 6,988,752     | 46              | 100               |
|                 | 高岡市金屋町(富山)     | 2012年12月28日 | ○          | 20分以内         | 3,713,800     | 3               | 40                |
|                 | 南砺市相倉(富山)      | 1994年12月21日 | ○          | 3時間以上         | 3,667,000     | 8               | 5                 |
|                 | 南砺市菅沼(富山)      | 1994年12月21日 | ○          | 4時間以上         | 3,667,000     | 0               | 5                 |
|                 | 南丹市美山町北(京都)    | 1993年12月8日  | ○          | 6時間以上         | 2,368,100     | 3               | 10                |
|                 | 内子町八日市護国(愛媛)   | 1982年4月17日  | ○          | 20分以内         | -             | 3               | 20                |
|                 | 津山市城東(岡山)      | 2013年8月7日   | ○          | 15分以内         | 1,993,000     | 9               | 20                |
|                 | 竹原市竹原地区(広島)    | 1982年12月16日 | ○          | 15分以内         | 400,000       | 6               | 20                |
|                 | 福山市鞆町(広島)      | 2017年11月28日 | ○          | 3時間以上         | 4,768,000     | 7               | 20                |
|                 | 日向市美々津(宮崎)     | 1986年12月8日  | ○          | 25分以内         | 1,486,282     | 3               | 5                 |
|                 | 客観             | 村田町村田(宮城)   | 2014年9月18日 | ○             | 1時間以上         | 484,441         | 2                 |
| 桜川市真壁(茨城)       |                | 2010年6月29日  | ○          | 3時間以上         | 341,900       | 2               | 15                |
| 桐生市桐生新町(群馬)     |                | 2012年7月9日   | ×          | 20分以内         | 4,143,300     | 1               | 30                |
| 美濃市美濃町(岐阜)      |                | 1999年5月13日  | ○          | 10分以内         | 783,777       | 7               | 35                |
| 焼津市花沢(静岡)       |                | 2014年9月18日  | ×          | 1時間以上         | 3,806,293     | 0               | 5                 |
| 大津市坂本(滋賀)       |                | 1997年10月31日 | ×          | 5分以内          | 12,903,100    | 0               | 15                |
| 秋市浜崎(山口)        |                | 2001年11月14日 | ×          | 20分以内         | 4,506,575     | 14              | 30                |
| 出水市出水麓(鹿児島)     |                | 1995年12月26日 | ○          | 25分以内         | -             | 2               | 25                |
| 南さつま市加世田麓(鹿児島)  |                | 2019年12月23日 | ×          | 4時間以上         | 1,478,308     | 4               | 25                |
| 構築              |                | 東御市海野宿(長野)  | 1987年4月28日 | ○             | 25分以内         | 802,500         | 1                 |
|                 | 東近江市五個荘金堂(滋賀)  | 1998年12月25日 | ×          | 25分以内         | 2,818,000     | 1               | 10                |
|                 | 呉市豊町御手洗(広島)    | 1994年7月4日   | ○          | 不可            | 3,644,000     | 3               | 15                |
|                 | 有田町有田内山(佐賀)    | 1991年4月30日  | ×          | 10分以内         | 2,428,000     | 3               | 15                |
|                 | 薩摩川内市入来麓(鹿児島)  | 2003年12月25日 | ×          | 3時間以上         | 3,559,685     | 0               | 5                 |
|                 | 実存             | 近江八幡市八幡(滋賀) | 1991年4月30日 | ○             | 30分以内         | 5,659,200       | 6                 |
| 構築一実存           | 津山市城西(岡山)      | 2020年12月23日 | ○          | 20分以内         | 1,993,000     | 9               | 35                |
| 実存一客観           | 横手市増田(秋田)      | 2013年12月27日 | ○          | 40分以内         | 3,571,877     | 3               | 20                |
|                 | 塩尻市奈良井(長野)     | 1978年3月31日  | ○          | 5分以内          | 1,107,100     | 9               | 20                |
|                 | 豊田市足助(愛知)      | 2011年6月20日  | ○          | 3時間以上         | 10,056,000    | 3               | 15                |
|                 | 亀山市関宿(三重)      | 1984年12月10日 | ○          | 10分以内         | -             | 1               | 15                |
|                 | 美馬市脇町南町(徳島)    | 1988年12月16日 | ○          | 35分以内         | -             | 4               | 15                |
|                 | 倉吉市打吹玉川(鳥取)    | 1998年12月19日 | ○          | 50分以内         | 321,417       | 8               | 25                |
|                 | 秋市佐々並市(山口)     | 2011年6月20日  | ○          | 3時間以上         | 4,506,575     | 2               | 5                 |
|                 | 下郷町大内宿(福島)     | 1981年4月18日  | ○          | 1時間以上         | 1,471,452     | 3               | 15                |
|                 | 竹富町竹富島(沖縄)     | 1987年4月28日  | ○          | 不可            | 1,025,959     | 20              | 15                |
|                 | 客観一構築          | 名古屋市有松(愛知)  | 2016年7月25日 | ×             | 5分以内          | 72,991,598      | 1                 |
| 高岡市山筋筋(富山)      |                | 2000年12月4日  | ○          | 10分以内         | 3,713,800     | 13              | 20                |
| 金沢市東山ひがし(石川)    |                | 2001年11月14日 | ×          | 30分以内         | -             | 60              | 40                |
| 丹波篠山市篠山(兵庫)     |                | 2004年12月10日 | ×          | 1時間以上         | 2,848,000     | 10              | 30                |
| 高梁市吹屋(岡山)       |                | 1977年5月18日  | ○          | 4時間以上         | 205,453       | 3               | 10                |
| 秋市堀内地区(山口)      |                | 1976年9月4日   | ×          | 25分以内         | 4,506,575     | 7               | 15                |
| 秋市平安古地区(山口)     |                | 1976年9月4日   | ×          | 15分以内         | 4,506,575     | 0               | 5                 |
| 鹿島市浜中町八本木宿(佐賀)  |                | 2006年7月5日   | ○          | 10分以内         | 4,281,300     | 2               | 10                |
| 榎原市今井町(奈良)      |                | 1993年12月8日  | ×          | 10分以内         | -             | 7               | 30                |
| 湯浅町湯浅(和歌山)      |                | 2006年12月19日 | ×          | 15分以内         | -             | 6               | 20                |
| 三好市東祖谷山村落合(徳島)  |                | 2005年12月27日 | ×          | 5時間以上         | -             | 3               | 5                 |
| 西予市宇和町卯之町(愛媛)   |                | 2009年12月8日  | ×          | 10分以内         | -             | 5               | 30                |
| 鹿島市浜庄津町浜金屋町(佐賀) |                | 2006年7月5日   | ×          | 10分以内         | 4,281,300     | 1               | 5                 |
| 日南市鉄肥(宮崎)       |                | 1977年5月18日  | ×          | 20分以内         | 1,922,494     | 8               | 25                |
| 恵那市岩村町本通り(岐阜)   |                | 1998年4月17日  | ×          | 10分以内         | 3,547,267     | 4               | 15                |

仮説を検証するために、宿泊施設と飲食店の数は Google マップを用い、重伝建地区の

ある一点<sup>7</sup>から徒歩 15 分以内（半径 1.2km）にどのくらいあるかを数えた<sup>8</sup>。最寄駅からのアクセスもまた Google マップを用い、ある一点から最寄駅までの距離を測った。観光客数は、令和元年における各市町村が出している観光客入込数を用いた<sup>9</sup>。

検証結果は表 7 のとおりである。まず総合型について、アクセスのしやすさに関係なく観光客数の多い自治体が多い傾向にあった。また、宿泊施設や飲食店数に関しても、かなり多い傾向にある。南砺市の集落は例外であるが、立地と集落であることを鑑みると、宿泊施設や飲食店数が多くないのは当然であろう。よって、仮説 1 は支持されたといえる。

客観型は、おおむね宿泊施設や飲食店が少ない傾向にあったが、美濃市美濃町と萩市浜崎など、宿泊施設や飲食店数が少し高い自治体もあるため、仮説 2 はある程度支持できる。一方で、美濃市美濃町と萩市浜崎が駅から近いことを鑑みると、単に駅周辺に宿泊施設や飲食店が多いだけであると判断することも可能であるため、仮説 2 も支持されたと判断して良いだろう。

構築型について、表 7 より比較的客数が少ない自治体が集まっており、制定日も古い保存地区がほとんどであった。この点で、仮説 3 は支持されたといえる。

実存型においては、制定日から現在まで 30 年以上経っていること、メインビジュアルに重伝建地区が使用されていることから仮説 4 は支持されるといえる。

構築—実存型に当てはまる津山市城西の重伝建地区制定日は 2020 年 12 月 23 日と、全体対象地区のなかで、最も新しい。よって、仮説 5 は支持されるといえる。

続いて実存—客観型だが、アクセスしづらい場所にある地区が多い一方で、塩尻市奈良井のように駅から徒歩 5 分で訪れることのできる場所もある。観光客数に関しては、観光客入込数が見つからなかった 3 地区を除いて、全体と比べ比較的少ない地区が多い。これらのことから、アクセスしづらい場所にあるから積極的な集客を行っていないとも、観光客数が多く来ているから積極的な集客を行っていないとも言い切れない。よって、仮説 6 は支持されない。

最後に、客観—構築型においては、15 地区中 12 地区で、観光サイトのメインビジュアルに他の主要な観光地や押し出したいポイントが使われている点から、ある程度仮説 7 は支持できる。しかし、3 地区はメインビジュアルに重伝建地区が使用されているため、あくまで仮説 7 は傾向があるといえる程度にとどまるものである。

## 4-2. 小括

本章では、真正性の違いに影響を及ぼしている要因を探るため、市町村の志向性の違い

---

<sup>7</sup> 具体的な地点は付録②を参照

<sup>8</sup> Google マップのある一地点を選択し、周辺検索を用いて検索した結果を数えている。宿泊施設は「ホテル」、飲食店の数は「カフェ／ホテル」と検索した。

<sup>9</sup> 参照したデータの URL は参考文献に記載。入込客数は令和元年のデータを参照しているが、データが見つからなかったものは「-」と記載した。コロナ禍以前の観光客数を把握したかったため、令和元年のデータを使用した。

がウェブサイトに見れていると仮定して、仮説検証を試みた。支持されない仮説もあったが、制定日、メインビジュアルの有無、最寄駅からのアクセス時間、観客数、宿泊施設や飲食店の数の違いから、ある程度、観光協会ないし市町村の志向性の違いを裏付けることができた。よって、観光協会ないし市町村の志向性の違いが、観光ウェブサイトの真正性の違いに影響を及ぼしている可能性が高いといえる結果となった。

## 5.おわりに

本研究では、観光における3つの真正性議論を応用し、重伝建地区を観光活用している自治体の観光ウェブサイトにおける真正性の分析をおこなった。この分析を通じて、実際に起きている変化が、観光ウェブサイトの分析レベルにおいても示されるということがわかった。文化財が「保護と活用」の対象へと変化している今日の状況は、「観光活用された町並み保存地区」における構築主義的真正性の項目の高さから捉えることができた。一方で、総合型が多いことから、観光ウェブサイトの表現において、文化財の「保護と活用の両立」を志向すること傾向が見られた。これらの結果は、積極的な文化財の活用は本来の文脈から観光客が求めるイメージへの変容につながるという問題をはらむという奥野（2020）の指摘を支持する一方で、今日の観光協会ないし市町村は、積極的な活用による文化財の弊害を理解し、伝統的な文脈も重視する「保護と活用の両立」を推進する傾向があることをも明らかにしているといえるだろう。

文化財ないし歴史的な町並みを活用して観光化を図ることは、観光立国を実現するうえで欠かせないものであり、今後ますます積極的な活用が促される。こうした状況下だからこそ、文化財の積極的な活用によって生まれる問題にしっかりと向き合う必要があり、「保護と活用の両立」を志向することが、観光協会ないし市町村のなかでますます重視されるようになるだろう。

第4章では観光ウェブサイトにおける市町村の志向性の違いがウェブサイトに現れていると仮定して、仮説検証を試みた。結果として、支持されない仮説もあったが、真正性の違いに影響を及ぼしている可能性が高い要因をつかむことができた。

一方で、いうまでもなく、本研究の仮説および検証方法は適切だとはいいきれず、今後改善する余地がある。本研究が実際に重伝建地区を訪れて観察するものではないため、あくまでも傾向を把握することにとどまるものだというのも指摘しておかなければならない。観光活用化による変化を捉えるには、実際に現地調査をしなければわからない可能性が高い。そのため次の段階として、「観光活用された町並み保存地区」における現地調査から、真正性を検討する必要があるだろう。

本論文は町並み保存における総覧的な調査と、真正性の検証を行い、町並み保存研究の一助になることを目指すものであったが、結果として観光ウェブサイト上でどこまで現実に起きている変化を捉えることができるのかを試したのものとしても位置づけられよう。ウェブサイトの分析だけでも傾向をつかむことができたという点で、本研究をおこなった意味があったように思う。

## 参考文献

### <文献・論文>

- 文化庁, 2015『歴史と文化の町並み辞典』中央公論美術出版.
- 文化財保護研究会, 2006『最新改正 文化財保護法』ぎょうせい.
- Boorstin, D. J. (1961). *The Image: or, What Happened to the American Dream*, New York: Atheneum paperbacks. [後藤和彦・星野郁美訳, 1964『幻影の時代—マスコミが製造する事実』東京創元社.]
- 遠藤英樹, 2002「観光社会学の新たな地平をもとめて：観光のオーセンティシティをめぐる社会学理論の展開」『奈良県立大学研究季報』12, 29-37.
- 福間良明, 2020『戦後日本、記憶の力学：「継承という断絶」と無難さの政治学』作品社.
- Hobsbawm, E. J. & Ranger, T. (1983). *The Invention of Tradition*, New York: Cambridge University Press. [前川啓治, 梶原景昭他訳, 1992『創られた伝統』紀伊国屋書店.]
- 荻谷勇雅・西村幸夫, 2016『日本の町並み [上巻]』山川出版.
- ——, 2016『日本の町並み [下巻]』山川出版.
- MacCannell, D. (1976). *The Tourist: A New Theory of the Leisure Class*, Schocken Books. [安村克己・須藤廣・高橋雄一郎・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟訳, 2012『ザ・ツーリスト—高度近代社会の構造分析』学文社]
- 宮本佳範, 2009「"持続可能な観光"の要件に関する考察—その概念形成における二つの流れを踏まえて—」『東邦学誌』38, 11-22.
- 中村賢二郎, 2007『わかりやすい文化財保護制度の解説』ぎょうせい.
- 奥野耕平, 2020「文化観光を通じた文化財保護の意義：文化政策学的視座からの考察」『同志社政策科学研究』1, 17-31.
- 大山 琢央, 2009「歴史的町並み保存に関する研究動向」『史学論叢』39, 50-64.
- 林涛, 2020「観光の真正性についての一考察：金門島における中国人インバウンドの事例から」『愛知大学国際問題研究所紀要』155, 265-285.
- 須山 聡, 2003「富山県井波町瑞泉寺門前町における景観の再構成」76, 957-978.
- 手島康幸, 2008「マスツーリズムの歴史的変遷と今後の行方—マスツーリズムに終焉はない—」『日本国際観光学会論文集』15, 11-17.
- 渡部瑞希, 2017「観光研究における真正性の再考察：カトマンズの観光市場、タメルで売られる「ヒマラヤ産の宝石」の事例から」『観光学評論』5, 21-35.

### <インターネット資料>

- 文化庁, 1998「文化振興マスタープラン」  
[[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/hakusho\\_nenjihokokusho/archive/pdf/r1402577\\_04.pdf](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/hakusho_nenjihokokusho/archive/pdf/r1402577_04.pdf)] (最終閲覧日：2022-01-25)
- 文化庁, 2019「歴史を活かしたまちづくり—伝統的建造物群保存地区制度のご案内」

[[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/pdf/pamphlet\\_ja\\_05.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/pdf/pamphlet_ja_05.pdf)] (最終閲覧日：2022-01-25)

- 国土交通省, 2003 「美しい国づくり政策大綱」  
[<https://www.mlit.go.jp/keikan/taikou.pdf>] (最終閲覧日：2022-01-25)
- 国土交通省, 2020 「国土交通白書 2020」  
[<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/pdfindex.html>] (最終閲覧日：2022-01-25)
- 国土技術政策総合研究所資料「歴史まちづくりの手引き (案)」723号.  
[<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryuu/tnn/tnn0723.htm>] (最終閲覧日：2022-01-25)
- 観光庁, 2016 「明日の日本を支える観光ビジョン」  
[[https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics01\\_000205.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics01_000205.html)] (最終閲覧日：2022-01-25)

<観光入込客数データの出典>

- 函館市観光部観光企画課, 2020 「令和元年度 (2019年度) 来函観光入込客数推計」  
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2015062500021/files/R01irikomi.pdf>  
(最終閲覧日：2022-01-20)
- 高山市商工観光部観光課「平成31年・令和元年 観光統計」  
[https://www.city.takayama.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/006/941/kankoutoukei\\_h31r01.pdf](https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/941/kankoutoukei_h31r01.pdf) (最終閲覧日：2022-01-20)
- 富山県観光・交通振興局観光振興室(公社)とやま観光推進機構「令和元年富山県観光客入込数等」  
<https://www.pref.toyama.jp/documents/4689/01456200.pdf> (最終閲覧日：2022-01-20)
- 京都府商工労働観光部「京都府観光入込客調査報告書」  
<https://www.pref.kyoto.jp/kanko/research/documents/tougou.pdf> (最終閲覧日：2022-01-20)
- 岡山県産業労働部観光課, 2020 「観光客・その流れと傾向ー令和元年岡山県観光客動態調査報告書ー」  
[https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/683627\\_misc2.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/683627_misc2.pdf) (最終閲覧日：2022-01-20)
- 商工労働局, 2020 「平成31(令和元・2019)年広島県観光客数の動向について」  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/398780.pdf> (最終閲覧日：2022-01-20)
- 宮崎県観光推進課「令和元年 宮崎県観光入込客統計調査結果」  
[[https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kanko-suishin/kanko/miryoku/documents/58033\\_20210729140112-1.pdf](https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kanko-suishin/kanko/miryoku/documents/58033_20210729140112-1.pdf)] (最終閲覧日：2022-



01-20)

- 宮城県経済商工観光部観光課「観光統計概要 令和元年」  
[<https://www.pref.miyagi.jp/documents/12827/818398.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 茨城県営業戦略部観光物産課「茨城の観光レクリエーション現況—令和元(2019)年観光客動態調査報告—」  
[<https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/kanbutsu/kikaku/documents/r1rekugen.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 群馬県戦略セールス局観光魅力創出課「令和元年(2019年)観光入込客統計調査報告書」  
[<https://www.pref.gunma.jp/contents/100172682.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 岐阜県ホームページ「令和元年岐阜県観光入込客統計調査 参考表」  
[<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/118020.html#:~:text=%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%85%83%E5%B9%B4%E3%81%AE,%E4%B8%87%E5%86%86%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%80%82>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局観光政策課「令和元年度静岡県観光交流の動向」  
[<https://toukei.pref.shizuoka.jp/kankouseisakuka/data/21-010/documents/r01kankokouryuunodoukou.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 滋賀県商工観光労働部観光振興局「令和元年 滋賀県観光入込客統計調査書」  
[<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5207222.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 山口県観光スポーツ文化部観光政策課「令和元年 山口県の宿泊者及び観光客の動向」  
[<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cmsdata/b/a/4/ba4fb974a17c87110a081a442f4b735d.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 南さつま市「令和2年度版 統計みなみさつま」  
[<http://www.city.minamisatsuma.lg.jp/goshokai/docs/R2toukei021228minamisatsuma.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 東御市「東御市の統計 2020」  
[<https://www.city.tomi.nagano.jp/file/130457.pdf>](最終閲覧日:2022-01-20)
- 佐賀県地域交流部 文化・スポーツ交流局観光課,2021「平成31年・令和元年 佐賀県観光客動態調査」  
[[https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00362356/3\\_62356\\_213512\\_up\\_je6k1ddh.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00362356/3_62356_213512_up_je6k1ddh.pdf)](最終閲覧日:2022-01-20)
- 薩摩川内市「統計さつませんたい 令和2年度版」  
[[https://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/contents/1147844339921/files/R02toukei\\_satsumasendai.pdf](https://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/contents/1147844339921/files/R02toukei_satsumasendai.pdf)](最終閲覧日:2022-01-20)
- 秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課「令和元年(平成31年)秋田県観光統計」  
[<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/51650>](最終閲覧日:2022-01-20)

- 長野県観光部山岳高原観光課「令和元年 観光地利用者統計調査結果」  
[[https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/toukei/documents/r1riyousyak  
ekka210729.pdf](https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/toukei/documents/r1riyousyak<br/>ekka210729.pdf)](最終閲覧日：2022-01-20)
- 豊田市「豊田市観光実践計画 2021~2014」  
[[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/007/613/2  
021/02.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/613/2<br/>021/02.pdf)](最終閲覧日：2022-01-20)
- 鳥取県交流人口拡大本部観光交流局観光戦略課「令和元年 観光客入込動態調査結果」  
[<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/226510/reiwa1-2.pdf>](最終閲覧日：2022-01-20)
- 福島県商工商工労働部観光交流局観光交流課「福島県観光客入込状況 令和2年分」  
[<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/467421.pdf>](最終閲覧日：  
2022-01-20)
- 竹富町ホームページ「令和元年(平成31年)竹富町入域観光客数(月別)」  
[<https://www.town.taketomi.lg.jp/administration/toukei/kankonyuiki/1551226090/>](  
最終閲覧日：2022-01-20)
- 名古屋市観光文化交流局, 2020「名古屋市観光客・宿泊客動向調査(令和元年)」  
[[https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/cmsfiles/contents/0000135/135327/r0  
1honpen.pdf](https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/cmsfiles/contents/0000135/135327/r0<br/>1honpen.pdf)](最終閲覧日：2022-01-20)
- 兵庫県「令和元年度 兵庫県観光客動態調査報告書」  
[<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr16/documents/r1.pdf>](最終閲覧日：2022-01-20)
- 岡山県産業労働部観光課, 2020「観光客・その流れと傾向ー令和元年岡山県観光客動態  
調査報告書ー」  
[[https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/683627\\_misc2.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/683627_misc2.pdf)](最終閲覧日：2022-  
01-20)
- 宮崎県観光推進課「令和元年 宮崎県観光入込客統計調査結果」  
[[https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kanko-  
suishin/kanko/miryoku/documents/58033\\_20210729140112-1.pdf](https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kanko-<br/>suishin/kanko/miryoku/documents/58033_20210729140112-1.pdf)](最終閲覧日：  
2022-01-20)

## 謝辞

本論文の執筆にあたり、終始丁寧かつ適切なお指導下さった指導教官の小熊英二先生に深く感謝申し上げます。また、異なるテーマにも関わらず、活発な議論を通じて丁寧にコメントして下さった研究会のみなさまにも感謝いたします。

< 付録① >

観光サイト点数化項目に基づく、重伝建地区を保持する  
各市町村の観光ウェブサイト点数化結果

調査対象：重伝統建地区に指定された地区を持つ市町村の各観光ウェブサイト  
調査期間：2021年9月8日から2021年12月1日

| 対象地区名（都道府県）        | 種類  | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 合計 | 2回目チェック | 観光情報サイト   |
|--------------------|-----|---|---|---|---|---|---|----|---------|---|
| 1 函館市元町末広町(北海道)    | 港   | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 11月5日   | <a href="https://www.hakobura.jp/">https://www.hakobura.jp/</a>   |
| 2 高山市三町(岐阜)        | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 9月8日    | <a href="https://www.hidatakayama.or.jp/">https://www.hidatakayama.or.jp/</a>   |
| 3 高山市下二之町大新町(岐阜)   | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 9月8日    | <a href="https://www.hidatakayama.or.jp/">https://www.hidatakayama.or.jp/</a>   |
| 4 高岡市金屋町(富山)       | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 11月5日   | <a href="https://www.takaoka.or.jp/">https://www.takaoka.or.jp/</a>   |
| 5 南砺市相倉(富山)        | 集落  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 11月8日   | <a href="https://www.tabi-nanto.jp/">https://www.tabi-nanto.jp/</a>   |
| 6 南砺市菅沼(富山)        | 集落  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 11月8日   | <a href="https://www.tabi-nanto.jp/">https://www.tabi-nanto.jp/</a>   |
| 7 南丹市美山町北(京都)      | 集落  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 9月8日    | <a href="https://miyamanavi.com/">https://miyamanavi.com/</a>   |
| 8 内子町八日市護国(愛媛)     | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 12月1日   | <a href="https://www.we-love-uchiko.jp/">https://www.we-love-uchiko.jp/</a>   |
| 9 津山市城東(岡山)        | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 12月1日   | <a href="http://www.tsuyamakan.jp/">http://www.tsuyamakan.jp/</a>   |
| 10 竹原市竹原地区(広島)     | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 9月11日   | <a href="https://www.takeharakankou.jp/">https://www.takeharakankou.jp/</a>   |
| 11 福山市鞆町(広島)       | 港   | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 12月1日   | <a href="https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/miryoku/">https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/miryoku/</a> |
| 12 日向市美々津(宮崎)      | 港   | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6  | 11月5日   | <a href="https://hyuga.or.jp/">https://hyuga.or.jp/</a>   |
| 13 横手市増田(秋田)       | 商家  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 11月5日   | <a href="https://masuda-matta.com/">https://masuda-matta.com/</a>   |
| 14 塩尻市奈良井(長野)      | 宿場  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 11月8日   | <a href="https://www.narajuku.com/">https://www.narajuku.com/</a>   |
| 15 名古屋市有松(愛知)      | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5  | 11月8日   | <a href="https://www.nagoya-info.jp/">https://www.nagoya-info.jp/</a>   |
| 16 豊田市足助(愛知)       | 商家  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 11月5日   | <a href="http://asuke.info/">http://asuke.info/</a>   |
| 17 亀山市関宿(三重)       | 宿場  | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 5  | 11月5日   | <a href="http://kameyama-kanko.com/">http://kameyama-kanko.com/</a>   |
| 18 高岡市山町筋(富山)      | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5  | 11月5日   | <a href="https://www.takaoka.or.jp/">https://www.takaoka.or.jp/</a>   |
| 19 金沢市東山ひがし(石川)    | 茶屋町 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5  | 11月8日   | <a href="https://www.kanazawa-kankouyukai.or.jp/index.html">https://www.kanazawa-kankouyukai.or.jp/index.html</a>       |
| 20 丹波篠山市篠山(兵庫)     | 武家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5  | 11月11日  | <a href="https://tourism.sasayama.jp/">https://tourism.sasayama.jp/</a>   |
| 21 美馬市脇町南町(徳島)     | 商家  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 11月25日  | <a href="https://www.city.mima.lg.jp/kankou/index.html">https://www.city.mima.lg.jp/kankou/index.html</a>               |
| 22 倉吉市打吹玉川(鳥取)     | 商家  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 12月1日   | <a href="https://www.kurayoshi-kankou.jp/">https://www.kurayoshi-kankou.jp/</a>   |
| 23 津山市城西(岡山)       | 商家  | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5  | 12月1日   | <a href="http://www.tsuyamakan.jp/">http://www.tsuyamakan.jp/</a>   |
| 24 高梁市吹屋(岡山)       | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5  | 12月1日   | <a href="http://www.takahasikanko.or.jp/">http://www.takahasikanko.or.jp/</a>   |
| 25 萩市堀内地区(山口)      | 武家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5  | 12月1日   | <a href="https://www.hagishi.com/">https://www.hagishi.com/</a>   |
| 26 萩市平安古地区(山口)     | 武家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 5  | 12月1日   | <a href="https://www.hagishi.com/">https://www.hagishi.com/</a>   |
| 27 萩市佐々並市(山口)      | 宿場  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5  | 12月1日   | <a href="https://www.hagishi.com/">https://www.hagishi.com/</a>   |
| 28 鹿島市浜中町八本木宿(佐賀)  | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5  | 11月25日  | <a href="https://saga-kashima-kankou.com/">https://saga-kashima-kankou.com/</a>   |
| 29 村田町村田(宮城)       | 商家  | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4  | 11月5日   | <a href="https://murata-kankou.com/">https://murata-kankou.com/</a>   |
| 30 下郷町大内宿(福島)      | 宿場  | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4  | 11月5日   | <a href="https://ouchi-juku.com/">https://ouchi-juku.com/</a>   |
| 31 桜川市真壁(茨城)       | 商家  | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4  | 11月5日   | <a href="http://www.kankou-sakuragawa.jp/">http://www.kankou-sakuragawa.jp/</a>   |
| 32 桐生市桐生新町(群馬)     | 産業  | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月5日   | <a href="http://kiryu-walker.net/">http://kiryu-walker.net/</a>   |
| 33 東御市海野宿(長野)      | 宿場  | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4  | 11月8日   | <a href="https://tomikan.jp/">https://tomikan.jp/</a>   |
| 34 美濃市美濃町(岐阜)      | 商家  | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4  | 11月8日   | <a href="http://www.mino-city.jp/jp/index.html">http://www.mino-city.jp/jp/index.html</a>                               |
| 35 恵那市岩村町本通り(岐阜)   | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 11月8日   | <a href="https://iwamura.jp/">https://iwamura.jp/</a>   |
| 36 焼津市花沢(静岡)       | 集落  | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月8日   | <a href="http://www.yaizu.gr.jp/">http://www.yaizu.gr.jp/</a>   |
| 37 大津市坂本(滋賀)       | 社寺  | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月10日  | <a href="https://www.hieizansakamoto.jp/">https://www.hieizansakamoto.jp/</a>   |
| 38 近江八幡市八幡(滋賀)     | 商家  | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4  | 11月10日  | <a href="https://www.omi8.com/">https://www.omi8.com/</a>   |
| 39 東近江市五個荘金堂(滋賀)   | 集落  | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月10日  | <a href="https://www.higashiomi.net/">https://www.higashiomi.net/</a>   |
| 40 橿原市今井町(奈良)      | 社寺  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 12月1日   | <a href="https://www.kashihara-kanko.or.jp/index.html">https://www.kashihara-kanko.or.jp/index.html</a>                 |
| 41 湯浅町湯浅(和歌山)      | 産業  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 11月25日  | <a href="https://www.yuasa-kankokyokai.com/">https://www.yuasa-kankokyokai.com/</a>                                     |
| 42 三好市東祖谷山村落合(徳島)  | 集落  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 11月25日  | <a href="https://miyoshi-tourism.jp/">https://miyoshi-tourism.jp/</a>   |
| 43 西予市宇和町卯之町(愛媛)   | 商家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 9月8日    | <a href="https://seijojikan.jp/">https://seijojikan.jp/</a>   |
| 44 呉市豊町御手洗(広島)     | 港   | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4  | 12月1日   | <a href="http://www.yutaka-kanko.jp/">http://www.yutaka-kanko.jp/</a>   |
| 45 萩市浜崎(山口)        | 港   | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4  | 12月1日   | <a href="https://www.hagishi.com/">https://www.hagishi.com/</a>   |
| 46 有田町有田内山(佐賀)     | 産業  | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月25日  | <a href="https://www.arita.jp/">https://www.arita.jp/</a>   |
| 47 鹿島市浜庄津町浜金屋町(佐賀) | 港   | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 11月25日  | <a href="https://saga-kashima-kankou.com/">https://saga-kashima-kankou.com/</a>   |
| 48 日南市飫肥(宮崎)       | 武家  | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4  | 11月25日  | <a href="https://www.kankou-nichinan.jp/">https://www.kankou-nichinan.jp/</a>   |
| 49 出水市出水麓(鹿児島)     | 武家  | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4  | 11月25日  | <a href="https://www.izumi-navi.jp/">https://www.izumi-navi.jp/</a>   |
| 50 薩摩川内市入来麓(鹿児島)   | 武家  | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4  | 11月25日  | <a href="https://satsumasendai.gr.jp/">https://satsumasendai.gr.jp/</a>   |

|     |                |    |   |   |   |   |   |   |   |        |   |
|-----|----------------|----|---|---|---|---|---|---|---|--------|---|
| 51  | 南さつま市加世田麓（鹿児島） | 武家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 11月25日 | <a href="https://kanko-minamisatsuma.jp/">https://kanko-minamisatsuma.jp/</a>                                       |
| 52  | 竹富町竹富島（沖縄）     | 集落 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 11月13日 | <a href="https://painusima.com/">https://painusima.com/</a>   |
| 53  | 黒石市中町（青森）      | 商家 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 11月5日  | <a href="https://kuroishi.or.jp/">https://kuroishi.or.jp/</a>   |
| 54  | 金ヶ崎町城内諏訪小路（岩手） | 武家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 9月8日   | <a href="https://www.comeon-kanegasaki.jp/">https://www.comeon-kanegasaki.jp/</a>                                   |
| 55  | 仙北市角館（秋田）      | 武家 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 9月8日   | <a href="https://tazawako-kakunodate.com/ja/">https://tazawako-kakunodate.com/ja/</a>                               |
| 56  | 喜多方市小田付（福島）    | 商家 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11月5日  | <a href="http://www.kitakata-kanko.jp/">http://www.kitakata-kanko.jp/</a>   |
| 57  | 中之条町六合赤岩（群馬）   | 集落 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 11月5日  | <a href="https://nakanojo-kanko.jp/">https://nakanojo-kanko.jp/</a>   |
| 58  | 川越市川越（埼玉）      | 商家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 11月5日  | <a href="https://www.koedo.or.jp/">https://www.koedo.or.jp/</a>   |
| 59  | 香取市佐原（千葉）      | 商家 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 11月8日  | <a href="https://www.suigo-sawara.ne.jp/">https://www.suigo-sawara.ne.jp/</a>                                       |
| 60  | 千曲市稲荷山（長野）     | 商家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://chikuma-kanko.com/">https://chikuma-kanko.com/</a>   |
| 61  | 塩尻市木曾平沢（長野）    | 産業 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://tokimeguri.jp/">https://tokimeguri.jp/</a>   |
| 62  | 南木曾町妻籠宿（長野）    | 宿場 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 9月8日   | <a href="http://www.tumago.jp/">http://www.tumago.jp/</a>   |
| 63  | 佐渡市宿根木（新潟）     | 港  | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="http://shukunegi.com/about/">http://shukunegi.com/about/</a>   |
| 64  | 郡上市郡上八幡北町（岐阜）  | 武家 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="http://www.gujohachiman.com/kanko/">http://www.gujohachiman.com/kanko/</a>                                 |
| 65  | 白川村荻町（岐阜）      | 集落 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://shirakawa-go.gr.jp/">https://shirakawa-go.gr.jp/</a>   |
| 66  | 高岡市吉久（富山）      | 商家 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://www.takaoka.or.jp/">https://www.takaoka.or.jp/</a>   |
| 67  | 金沢市卯辰山麓（石川）    | 社寺 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html">https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html</a> |
| 68  | 加賀市加賀橋立（石川）    | 集落 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 11月8日  | <a href="https://www.tabimati.net/">https://www.tabimati.net/</a>   |
| 69  | 加賀市加賀東谷（石川）    | 集落 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 11月8日  | <a href="https://www.tabimati.net/">https://www.tabimati.net/</a>   |
| 70  | 小浜市小浜西組（福井）    | 商家 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 11月10日 | <a href="https://www.wakasa-obama.jp/">https://www.wakasa-obama.jp/</a>   |
| 71  | 若狭町熊川宿（福井）     | 宿場 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 11月10日 | <a href="http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/kankou/">http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/kankou/</a>                 |
| 72  | 伊根町伊根浦（京都）     | 集落 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 11月10日 | <a href="https://www.ine-kankou.jp/">https://www.ine-kankou.jp/</a>   |
| 73  | 丹波篠山市福住（兵庫）    | 宿場 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 11月12日 | <a href="https://tourism.sasayama.jp/">https://tourism.sasayama.jp/</a>   |
| 74  | 丸亀市塩飽本島町笠島（香川） | 港  | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 9月8日   | <a href="http://honjima.justhpbps.jp/index.html">http://honjima.justhpbps.jp/index.html</a>                         |
| 75  | 大田市温泉津（島根）     | 港  | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 9月8日   | <a href="https://www.ginzan-wm.jp/">https://www.ginzan-wm.jp/</a>   |
| 76  | 矢掛町矢掛宿（岡山）     | 宿場 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 9月8日   | <a href="https://www.yakage-kanko.net/">https://www.yakage-kanko.net/</a>   |
| 77  | 八女市八女福島（福岡）    | 商家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 12月1日  | <a href="https://yame.travel/">https://yame.travel/</a>   |
| 78  | うきは市筑後吉井（福岡）   | 商家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 12月1日  | <a href="https://ukihalove.jp/">https://ukihalove.jp/</a>   |
| 79  | 日田市豆田町（大分）     | 商家 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 11月25日 | <a href="https://www.oidehita.com/">https://www.oidehita.com/</a>   |
| 80  | 杵築市北台南台（大分）    | 武家 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 9月8日   | <a href="https://www.kit-suki.com/">https://www.kit-suki.com/</a>   |
| 81  | 椎葉村十根川（宮崎）     | 集落 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 11月25日 | <a href="https://www.shiibakanko.jp/">https://www.shiibakanko.jp/</a>   |
| 82  | 南九州市知覧（鹿児島）    | 武家 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 11月13日 | <a href="http://minamikyushu-kankounavi.com/index.php">http://minamikyushu-kankounavi.com/index.php</a>             |
| 83  | 渡名喜村渡名喜島（沖縄）   | 集落 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 11月13日 | <a href="https://www.tonaki-kanko.com/">https://www.tonaki-kanko.com/</a>   |
| 84  | 早川町赤沢（山梨）      | 宿場 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 11月8日  | <a href="https://hayakawakankou.jp/">https://hayakawakankou.jp/</a>   |
| 85  | 金沢市寺町台（石川）     | 社寺 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11月8日  | <a href="https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html">https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html</a> |
| 86  | 白山市白峰（石川）      | 集落 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 12月1日  | <a href="http://shiramine.info/">http://shiramine.info/</a>   |
| 87  | 彦根市河原町芹町地区（滋賀） | 商家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11月10日 | <a href="https://www.hikoneshi.com/jp/">https://www.hikoneshi.com/jp/</a>   |
| 88  | 与謝野町加悦（京都）     | 産業 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 11月11日 | <a href="https://yosano-kankou.net/">https://yosano-kankou.net/</a>   |
| 89  | 富田林市富田林（大阪）    | 社寺 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 11月11日 | <a href="https://www.city.tondabayashi.lg.jp/site/kirameki/">https://www.city.tondabayashi.lg.jp/site/kirameki/</a> |
| 90  | 豊岡市出石（兵庫）      | 武家 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 12月1日  | <a href="https://www.izushi.co.jp/">https://www.izushi.co.jp/</a>   |
| 91  | たつの市龍野（兵庫）     | 商家 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 11月12日 | <a href="https://tatsuno-tourism.jp/">https://tatsuno-tourism.jp/</a>   |
| 92  | 五條市五條新町（奈良）    | 商家 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 9月8日   | <a href="http://www.gojo.ne.jp/g-kanko/">http://www.gojo.ne.jp/g-kanko/</a>   |
| 93  | 宇陀市松山（奈良）      | 商家 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 11月25日 | <a href="http://aknv.city.uda.nara.jp/matuyama/index.htm">http://aknv.city.uda.nara.jp/matuyama/index.htm</a>       |
| 94  | 牟岐町出羽島（徳島）     | 集落 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 12月1日  | <a href="http://mugi-kankou.com/">http://mugi-kankou.com/</a>   |
| 95  | 大田市大森銀山（島根）    | 産業 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 9月8日   | <a href="https://www.ginzan-wm.jp/">https://www.ginzan-wm.jp/</a>   |
| 96  | 倉敷市倉敷川畔（岡山）    | 商家 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 9月8日   | <a href="https://www.kurashiki-tabi.jp/">https://www.kurashiki-tabi.jp/</a>   |
| 97  | 柳井市古市金屋（山口）    | 商家 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 9月8日   | <a href="http://www.kanko-yanai.com/">http://www.kanko-yanai.com/</a>   |
| 98  | 朝倉市秋月（福岡）      | 武家 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9月8日   | <a href="https://amagiasakura.net/">https://amagiasakura.net/</a>   |
| 99  | 長崎市東山手（長崎）     | 港  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 11月25日 | <a href="https://www.at-nagasaki.jp/">https://www.at-nagasaki.jp/</a>   |
| 100 | 長崎市南山手（長崎）     | 港  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 11月25日 | <a href="https://www.at-nagasaki.jp/">https://www.at-nagasaki.jp/</a>   |

|     |                 |     |   |   |   |   |   |   |    |        |   |
|-----|-----------------|-----|---|---|---|---|---|---|----|--------|---|
| 101 | 弘前市仲町（青森）       | 武家  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月5日  | <a href="https://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/index.html">https://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/index.html</a>           |
| 102 | 金沢市主計町（石川）      | 茶屋町 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月8日  | <a href="https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html">https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/index.html</a>     |
| 103 | 京都市上賀茂（京都）      | 社寺  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月10日 | <a href="https://ja.kyoto.travel/">https://ja.kyoto.travel/</a>   |
| 104 | 京都市産寧坂（京都）      | 社寺  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月10日 | <a href="https://ja.kyoto.travel/">https://ja.kyoto.travel/</a>   |
| 105 | 京都市祇園新橋（京都）     | 茶屋町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月10日 | <a href="https://ja.kyoto.travel/">https://ja.kyoto.travel/</a>   |
| 106 | 京都市嵯峨鳥居本（京都）    | 社寺  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月10日 | <a href="https://ja.kyoto.travel/">https://ja.kyoto.travel/</a>   |
| 107 | 養父市大屋町大杉（兵庫）    | 集落  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 11月12日 | <a href="https://www.yabu-kankou.jp/">https://www.yabu-kankou.jp/</a>   |
| 108 | 室戸市吉良川町（高知）     | 商家  | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1  | 9月8日   | <a href="https://www.muroto-kankou.com/">https://www.muroto-kankou.com/</a>   |
| 109 | 安芸市土居廊中（高知）     | 武家  | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1  | 9月8日   | <a href="https://www.akikanko.or.jp/">https://www.akikanko.or.jp/</a>   |
| 110 | 八女市黒木（福岡）       | 商家  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1  | 12月1日  | <a href="https://yame.travel/">https://yame.travel/</a>   |
| 111 | 南会津町前沢（福島）      | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月5日  | <a href="https://www.kanko-aizu.com/">https://www.kanko-aizu.com/</a>   |
| 112 | 栃木市嘉右衛門町（栃木）    | 商家  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月5日  | <a href="https://www.tochigi-kankou.or.jp/">https://www.tochigi-kankou.or.jp/</a>                                       |
| 113 | 甲州市塩山下小田原上条（山梨） | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月8日  | <a href="https://www.koshu-kankou.jp/">https://www.koshu-kankou.jp/</a>   |
| 114 | 長野市戸隠（長野）       | 社寺  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月8日  | <a href="https://togakushi-21.jp/">https://togakushi-21.jp/</a>   |
| 115 | 白馬村青鬼（長野）       | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月8日  | <a href="https://www.vill.hakuba.nagano.jp/">https://www.vill.hakuba.nagano.jp/</a>                                     |
| 116 | 輪島市黒島地区（石川）     | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月8日  | <a href="https://wajimanavi.jp/">https://wajimanavi.jp/</a>   |
| 117 | 神戸市北野町山本通（兵庫）   | 港   | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 11月11日 | <a href="http://www.feel-kobe.jp/">http://www.feel-kobe.jp/</a>   |
| 118 | 大山町所子（鳥取）       | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 12月1日  | <a href="https://tourismdaisen.com/">https://tourismdaisen.com/</a>   |
| 119 | 津和野町津和野（島根）     | 武家  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 12月1日  | <a href="http://tsuwano-kanko.net/">http://tsuwano-kanko.net/</a>   |
| 120 | うきは市新川田籠（福岡）    | 集落  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 12月1日  | <a href="https://ukihalove.jp/">https://ukihalove.jp/</a>   |
| 121 | 平戸市大島村神浦（長崎）    | 港   | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  | 9月8日   | <a href="https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kanko/index.html">https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kanko/index.html</a> |
| 122 | 雲仙市神代小路（長崎）     | 武家  | - | - | - | - | - | - | -  | 9月8日   |   |
| 123 | 嬉野市塩田津（佐賀）      | 商家  | - | - | - | - | - | - | -  | 9月8日   |   |
|     |                 |     |   |   |   |   |   |   | 平均 | 3.2    |   |

< 付録② >

第 4 章において Google map を用いた際に定めた  
重伝建地区内の一点一覽

| 対象地区名(都道府県) | 住所「表示名称」  |
|-------------|---|
| 函館市元町末広町    | 〒040-0054 北海道函館市元町15 「函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区」          |
| 高山市三町       | 〒506-0000 岐阜県高山市上一之町 「飛騨高山古い町並 三町伝統的建造物群保存地区」       |
| 高山市下二之町大新町  | 〒506-0842 岐阜県高山市下二之町 「下二之町」                         |
| 高岡市金屋町      | 〒933-0841 富山県高岡市金屋町6-7                              |
| 南砺市相倉       | 〒939-1915 富山県南砺市相倉 「重要伝統的建造物群保存地区 相倉集落」             |
| 南砺市菅沼       | 〒939-1973 富山県南砺市菅沼 「菅沼合掌造り集落(伝統的建造物群保存地区)」          |
| 南丹市美山町北     | 〒601-0712 京都府南丹市美山町北 「美山 かやぶきの里・北村」                 |
| 内子町八日市護国    | 〒791-3310 愛媛県喜多郡内子町城廻211                            |
| 津山市城東(岡山)   | 〒708-0837 岡山県津山市橋本町24                               |
| 竹原市竹原地区     | 〒725-0022 広島県竹原市本町3丁目10-39                          |
| 福山市鞆町       | 〒720-0201 広島県福山市鞆町鞆「鞆の浦」                            |
| 日向市美々津      | 〒889-1111 宮崎県日向市美々津町「美々津重要伝統的建造物群保存地区」              |
| 村田町村田       | 〒989-1305 宮城県柴田郡村田町村田西48 「蔵の町並み」                    |
| 桜川市真壁       | 〒300-4408 茨城県桜川市真壁町真壁297 「町並み案内所まちづくり真壁本部」          |
| 桐生市桐生新町     | 〒376-0031 群馬県桐生市本町1丁目2-24<br>「桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」 |
| 美濃市美濃町      | 〒501-3701 岐阜県美濃市 「うだつの上がる町並み」                       |
| 焼津市花沢       | 〒425-0001 静岡県焼津市花沢 「花沢伝統的建造物群保存地区」                  |
| 大津市坂本       | 〒520-0113 滋賀県大津市坂本4丁目5                              |
| 萩市浜崎        | 〒758-0022 山口県萩市浜崎町 「浜崎伝統的建造物群保存地区」                  |
| 出水市出水麓      | 〒899-0204 鹿児島県出水市麓町10 「出水麓武家屋敷群」                    |
| 南さつま市加世田麓   | 〒897-0002 鹿児島県南さつま市加世田武田 「別府城跡」                     |
| 東御市海野宿      | 〒389-0518 長野県東御市本海野 「海野宿(重要伝統的建造物群保存地区)」            |



|            |   |
|------------|---|
| 東近江市五個荘金堂  | 〒529-1405 滋賀県東近江市五個荘金堂町<br>「五個荘金堂・重要伝統的建造物群保存地区」        |
| 呉市豊町御手洗    | 〒734-0302 広島県呉市豊町御手洗 「呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区」               |
| 有田町有田内山    | 〒844-0005 佐賀県西松浦郡有田町幸平1丁目1-1 「有田観光協会<br>伝統文化の交流プラザ・有田館」 |
| 薩摩川内市入来麓   | 〒895-1402 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名130 「入来麓武家屋敷群」                 |
| 近江八幡市八幡    | 〒523-0837 滋賀県近江八幡市大杉町 「八幡堀」                             |
| 津山市城西      | 〒708-0046 岡山県津山市西今町24 「城西地区の街並み・西今町」                    |
| 横手市増田      | 〒019-0701 秋田県横手市増田町増田上町53 「増田町観光協会 増田の町並み案内所「ほたる」」      |
| 塩尻市奈良井     | 〒399-6303 長野県塩尻市奈良井 「奈良井宿」                              |
| 豊田市足助      | 〒444-2424 愛知県豊田市足助町本町20 「足助の町並み」                        |
| 亀山市関宿      | 〒519-1112 三重県亀山市関町中町 「関宿」                               |
| 美馬市脇町南町    | 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町2 「脇町・うだつの町並み」                    |
| 倉吉市打吹玉川    | 〒682-0826 鳥取県倉吉市東仲町2573 「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区（案内板）」       |
| 萩市佐々並市     | 〒753-0101 山口県萩市佐々並14-1 「萩往還夏木原交流施設 萩市佐々並市伝統的建造物群保存地区」   |
| 下郷町大内宿     | 〒969-5207 福島県南会津郡下郷町大内 「大内宿」                            |
| 竹富町竹富島     | 〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富430 「まちなみ館」                       |
| 名古屋市有松     | 〒458-0924 愛知県名古屋市緑区有松1815                               |
| 高岡市山町筋     | 〒933-0929 富山県高岡市木舟町67 富山県高岡市木舟町67 「山町筋（重要伝統的建造物群保存地区）」  |
| 金沢市東山ひがし   | 〒920-0831 石川県金沢市東山1丁目13 「ひがし茶屋街」                        |
| 丹波篠山市篠山    | 〒669-2324 兵庫県丹波篠山市東新町15-1                               |
| 高梁市吹屋      | 〒719-2341 岡山県高梁市成羽町吹屋838-2 「吹屋ふるさと村」                    |
| 萩市堀内地区     | 〒758-0057 山口県萩市堀内85-2 「旧厚狭毛利家萩屋敷長屋」                     |
| 萩市平安古地区    | 〒758-0074 山口県萩市平安古町160 「坪井九右衛門旧宅」                       |
| 鹿島市浜中町八本木宿 | 〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町乙2686 「肥前浜宿酒蔵通り」                      |

|             |  |
|-------------|--|
| 橿原市今井町      | 〒634-0812 奈良県橿原市今井町1丁目10 「今井町伝統的建造物群保存地区」        |
| 湯浅町湯浅       | 〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅443 「湯浅まちなみ交流館」            |
| 三好市東祖谷山村落合  | 〒778-0202 徳島県三好市東祖谷落合99 「落合集落」                   |
| 西予市宇和町卯之町   | 〒797-0015 愛媛県西予市宇和町卯之町3丁目 西予市宇和町卯之町「伝統的建造物群保存地区」 |
| 鹿島市浜庄津町浜金屋町 | 〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町4330 「鹿島市浜庄津町浜金屋町伝統的建造物群保存地区」  |
| 日南市飫肥       | 〒889-2533 宮崎県日南市星倉1 「飫肥城下町」                      |
| 恵那市岩村町本通り   | 〒509-7403 岐阜県恵那市岩村町251 「岩村町本通り」                  |